

2020年春新設講座

小倉城発掘

考古学が語る近世城郭と人々の暮らし



小倉城天守閣は北九州市民のシンボルとして身近な存在ですが、その魅力は天守閣だけではありません。堀、石垣、塀、門、橋、道など、そのすべてが近世小倉城郭を形作っている、なくてはならない舞台装置といえるのです。

今回は、普段気づかなかつた小倉城の構成要素であり目に見える遺構（いこう）や、発掘調査で出土したさまざまな遺物（いぶつ）を通して、そこに暮らした武士や町人のすがたを再現します。また、周辺の近世城郭も紹介する中で、小倉城の存在意義について考えてみます。全6回講座終了後、小倉城の素晴らしさが再認識でき、小倉城がこの町で暮らす私たちにとって、未来の人々に伝えられる貴重な歴史遺産だと思えるよう、ともに学んでいけたら最高です。



1. 豊前小倉城の成立とその構造	2. 城からたどる細川家の軌跡
3. 小倉城天守台石垣と堀が語る知られざる事実	4. 武家と庶民、暮らしと墓と
5. 瓦から見た織豊期城郭と小倉城	6. 筑前黒田藩黒崎城・若松城と豊前細川藩小倉城



【講師】 北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室長

佐藤浩司 先生

【日時】 6か月コース

月1回・第③日曜日

10:00～11:30

【受講料】 一括前納・消費税込

受講料 13,200円

(1ヶ月あたり2,200円)

維持費 1,650円

(1ヶ月あたり 275円)

—受講申込み・お問い合わせ—

よみうりFBS文化センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-11-15 KMMビル別館2階

TEL: 093-511-6555 (北九州) FAX: 093-541-6556 (北九州)

メール: yomiuri-fbs@tempo.ocn.ne.jp HP: <http://yomiuri-cg.jp>